

号外

松前町
議会だより

調査特別委員会

ニュース No.2

(10/1 発行)

JR 北伊予駅自由通路 及び 周辺整備事業

北伊予駅自由通路(高架橋)調査進む
結果は?一般町民向けアンケート、小委員会

去る8月25日、第4回の調査特別委員会を開催した。発足から1か月間の活動内容を各担当者から報告を受け、今後の方向性についてさらに議論をした。

アンケート調査も北伊予校区だけでなく全校区に拡げた。さらに委員による任意の聞き取り調査の報告などもあった。

町長への聞き取り

問 自由通路という発想は、いつからか。費用対効果から北側への移動は考えなかったか。今後については。

答 地元要望もあるが町内全体の活性化につながる取組みだと考えたからだ。JR側も駅や広場を自由に使うのでいいと言っている。道の駅などの利用もできる。北伊予地区の活性化

また、町長にこれまでの経緯や自身の考えなどを聞いた。ただ進めてきた調査から行政と各団体との協議における内容に議会側との認識の差異があると判断し、小委員会で調査することになった。

化にもつなげたい。自由通路の北側への移動は検討したが交渉の中で東西の降りる場所の問題で無理のようだ。

特別委員会での方向性が出ればJR側と交渉していく。できれば平成27年の早い時期に行いたい。

小委員会の結果報告より

◎まちづくり課に聞く

高架橋計画時の担当職員が会議に来ていないため経過の正確な内容が聞けなかった。

問 当初、平成20年1月はJRと県が計画していたが(下図)、平成24年に現在の新しい計画に変更になった理由は。

回答なし。
議事録公表なし。

(要望地域との聞き取り調査を試みたがかわかった。)

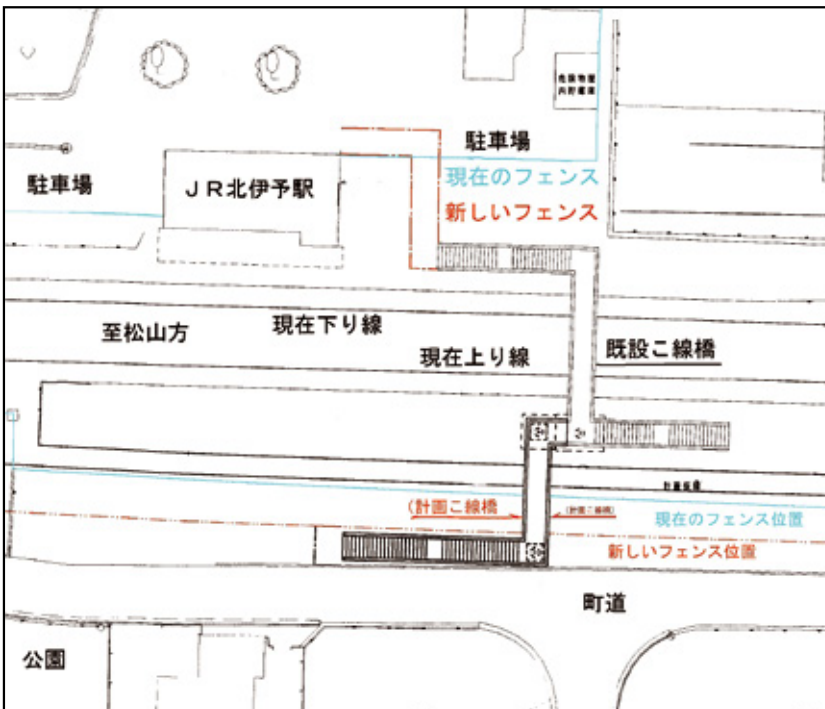
問 誰が造る起案を行い判断をしたのか。

回答なし。

事前に県に問い合わせたところ「県は元の計画に戻れる」との回答あり。

答 左図の継足工法はデメリットが多いので行なわない。(町)

直接関係する事業は県の全額負担で実施するが、北伊予駅高架橋は県の直轄事業の対象外となったため、町がお金を出し県の補助金で実施する事業となっている。



平成20年1月 県の計画図